NIE実践報告

1．タイトル：☆出場権をつかめ！箱根駅伝予選会

2．学校名

岡山県倉敷市立玉島北中学校

3．実践者名（代表者名）

大森友紀子

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

道徳　214人（2年生全員）

6．単元（本時の学習課題）名

7．目標(狙い)

箱根駅伝出場者の熱い思いを知り、自分たちの駅伝大会への思いを強くする。

8．評価の視点

途中棄権した選手の思いや、朦朧としながらも歩を進めた選手の思いに共感できるか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

1時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・箱根駅伝についての説明を行い、生徒の中にイメージをわかせる。
・初めに駅伝に関する映像を見て気持ちを喚起させた後、新聞記事を読む事で、活字から情景を思い受かべやすくする。
・教材提示装置を使い、記事をスクリーンに映し出す事で、着目させたい点を明確にする。
・映像と新聞を併用する事で、心情を理解しやすくするとともに、活字により定着をはかる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「駅伝は見た事がなかったけど、たくさんの思いの詰まった大会なんだと強く感じた」とか、「選手の一生懸命さやチームの絆に感動した。自分たちもあんな風にみんなで走りきりたい」など、どの生徒の感想からも大きな感動が伝わってきた。

12．成果と課題

その後の駅伝大会に対する生徒の意気込みは大変大きく、大会自体の盛り上がりもすばらしかった。一人ひとりがタスキの重みを感じながら走り、クラスの絆が深まったように感じている。
NIEというと新聞単独で考えがちであるが、今回映像と併用することで、さらに活字のよさを生かす事ができたと感じている。